

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

「当院における掌蹠膿疱症性骨関節症の治療」についての探索的観察研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 血液膠原病内科（研究責任者）井汲菜摘

＜研究期間＞

承認日 ～ 西暦 2019年 12月 31日

＜研究の目的と意義＞

掌蹠膿疱症性骨関節症は、皮膚の疾患である掌蹠膿疱症に関節痛や前胸部痛など胸鎖関節炎などの関節脊椎炎を合併する疾患です。この疾患は SAPHO 症候群と呼ばれることもあります。皮膚科や膠原病内科、整形外科などで診療されています。いずれかの科だけで治療を行うこともあれば、いくつかの科で併せて治療を行っていることもあります。診療科ごとの治療方法の差や治療効果に違いがでていないか検討するのが、本研究の目的です。当院で治療をうける掌蹠膿疱症性骨関節症の患者様のカルテに記載された治療内容や検査、症状等のデータを検討します。この研究のために、追加で行う検査や治療などはありません。

＜利用する試料・情報の項目＞

診療記録、検査データ、処方・注射歴、レントゲン・MRI・アイソトープ等の画像検査結果の情報を使用します。性差、年齢、掌蹠膿疱症および骨関節症状の罹病期間、関節・皮膚症状、治療薬剤の使用歴、血清学的反応、画像所見、画像検査の間隔等を検討します。

＜対象となる患者さん＞

西暦 2017年 12月 1日～西暦 2018年 9月 30日の期間に当院皮膚科または血液膠原病内科に受診され、掌蹠膿疱症性骨関節症の治療を行っている方

＜研究の方法＞

データを集計し、統計解析ソフトを用いて診療科間で治療に差がないか検討します。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

血液膠原病内科 氏名:井汲 菜摘

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2403 (PHS)8013